



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 助川電気工業株式会社

コード番号 7711 URL <http://www.sukegawadenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 百目鬼 孝一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小滝 理

TEL 0293-23-6411

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日

平成27年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	2,397	△25.5	271	△26.3	273	△27.0	175	△30.2
26年9月期第2四半期	3,216	43.1	368	68.8	374	72.9	251	99.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	27.80	—
26年9月期第2四半期	38.31	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	6,617		3,849			58.2
26年9月期	6,329		3,714			58.7

(参考)自己資本 27年9月期第2四半期 3,849百万円 26年9月期 3,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年9月期	—	8.00	—	9.00	17.00
27年9月期	—	10.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	9.00	19.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,468	△11.0	310	△24.0	305	△28.9	183	△33.7	28.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期2Q	6,710,000 株	26年9月期	6,710,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年9月期2Q	386,051 株	26年9月期	384,252 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	6,324,466 株	26年9月期2Q	6,575,993 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注および販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、円安傾向の継続による輸出企業の収益押し上げや消費増税の先送り等により、緩やかな持ち直しの傾向が見られるものの、原材料価格の上昇、欧州におけるギリシャ問題の再燃および新興国経済の成長力鈍化等の影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社におきましては、前期のような一時的に特別な受注がなく全体的に作業量が減少するなか、シーす型の熱電対・ヒータ・信号ケーブル等を中心に受注の確保および電磁ポンプを軸とする熔融金属機器の充実を図るとともに、個人別稼働計画の推進等による社内の生産体制の最適化等を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は23億9千7百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益は2億7千1百万円（前年同期比26.3%減）、経常利益は2億7千3百万円（前年同期比27.0%減）、四半期純利益は、1億7千5百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

エネルギー関連につきましては、全体的には、期首計画通り堅調に推移しておりますが、前期に福島第一原子力発電所の事故以来、計画が延期されていたものが再開するなど、原子力関連製品全般の受注および納期が集中したことの影響により、売上高13億4千3百万円（前年同期比30.3%減）、セグメント利益（営業利益）2億7千9百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

産業システム関連につきましても、ほぼ期首計画通りであります。前期に比し、半導体製造装置関連製品は堅調に推移したものの、液晶パネル製造装置関連製品が減少したことにより、売上高9億3千1百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント利益（営業利益）1億5千2百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

その他につきましては、採算性が悪化した飲食店舗1店舗を閉鎖したことにより、売上高1億2千2百万円（前年同期比18.5%減）、セグメント損失（営業損失）8百万円（前年同期は9百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は66億1千7百万円となり、前事業年度末に比べ2億8千7百万円増加しました。負債は27億6千7百万円となり前事業年度末に比べ1億5千3百万円増加しました。純資産は38億4千9百万円となり前事業年度末に比べ1億3千4百万円増加しました。

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態に関する分析は以下のとおりであります。

（流動資産）

流動資産は、前事業年度末から2億8千2百万円増加し、41億1千4百万円となりました。これは主に、現金及び預金および受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

（固定資産）

固定資産は、前事業年度末から4百万円増加し、25億3百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が減少した反面、リース資産（有形固定資産その他）が増加したことによるものであります。

（流動負債）

流動負債は、前事業年度末から1億5千2百万円増加し、24億2千5百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金および電子記録債務が増加したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は、前事業年度末から329千円増加し、3億4千2百万円となりました。これは主に、退職給付引当金、長期借入金が増加した反面、リース債務（その他）が増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産は、前事業年度末から1億3千4百万円増加し、38億4千9百万円となりました。これは主に、配当金の支払があった反面、四半期純利益の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて1億1千6百万円増の15億2千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、2億5千7百万円(前年同期比26.4%減)となりました。これは主に、売上債権、棚卸資産が増加(それぞれ△93百万円、△72百万円)した反面、仕入債務の増加(190百万円)、税引前四半期純利益の計上(270百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、6千8百万円(前年同期比27.7%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(△58百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、7千3百万円(前年同期比306.7%増)となりました。これは主に、配当金の支払による支出(△56百万円)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の業績予想につきましては、平成26年11月13日付の「平成26年9月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,404,813	1,521,081
受取手形及び売掛金	1,633,388	1,726,713
商品及び製品	122,821	132,397
仕掛品	308,901	340,667
原材料及び貯蔵品	268,929	300,513
その他	95,889	96,255
貸倒引当金	△3,600	△3,600
流動資産合計	3,831,142	4,114,029
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	632,421	607,598
土地	884,958	884,958
その他(純額)	213,657	236,261
有形固定資産合計	1,731,036	1,728,818
無形固定資産	32,361	37,975
投資その他の資産		
その他	743,642	743,361
貸倒引当金	△8,779	△6,979
投資その他の資産合計	734,863	736,382
固定資産合計	2,498,261	2,503,176
資産合計	6,329,404	6,617,206
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	452,125	540,759
電子記録債務	120,246	221,640
短期借入金	1,240,000	1,240,000
未払法人税等	96,848	80,784
賞与引当金	72,017	74,884
その他	291,634	267,565
流動負債合計	2,272,871	2,425,633
固定負債		
長期借入金	53,320	45,316
退職給付引当金	275,734	259,991
その他	12,815	36,892
固定負債合計	341,870	342,200
負債合計	2,614,742	2,767,833

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	921,100	921,100
資本剰余金	1,164,309	1,164,309
利益剰余金	1,783,382	1,902,259
自己株式	△212,123	△213,412
株主資本合計	3,656,668	3,774,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,993	75,115
評価・換算差額等合計	57,993	75,115
純資産合計	3,714,662	3,849,372
負債純資産合計	6,329,404	6,617,206

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,216,451	2,397,189
売上原価	2,410,255	1,744,559
売上総利益	806,195	652,630
販売費及び一般管理費	437,683	381,219
営業利益	368,512	271,411
営業外収益		
受取利息	1,913	2,146
受取配当金	3,102	3,167
受取保険金	5,104	-
その他	6,672	7,216
営業外収益合計	16,792	12,529
営業外費用		
支払利息	9,009	9,078
その他	1,958	1,532
営業外費用合計	10,968	10,611
経常利益	374,336	273,329
特別利益		
投資有価証券売却益	1,508	2,096
特別利益合計	1,508	2,096
特別損失		
減損損失	-	4,566
特別損失合計	-	4,566
税引前四半期純利益	375,844	270,859
法人税、住民税及び事業税	109,000	76,329
法人税等調整額	14,933	18,721
法人税等合計	123,933	95,050
四半期純利益	251,911	175,808

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	375,844	270,859
減価償却費	43,873	57,647
減損損失	-	4,566
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△1,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	566	2,867
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,794	△15,743
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,508	△2,096
受取利息及び受取配当金	△5,015	△5,313
支払利息	9,009	9,078
売上債権の増減額(△は増加)	△693,860	△93,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,959	△72,926
仕入債務の増減額(△は減少)	584,078	190,027
前受金の増減額(△は減少)	76,094	4,586
その他	33,065	915
小計	438,513	349,343
利息及び配当金の受取額	5,018	5,311
利息の支払額	△8,970	△9,032
法人税等の支払額	△93,315	△92,359
その他	9,225	4,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	350,472	257,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△102,132	△58,284
無形固定資産の取得による支出	-	△5,857
投資有価証券の取得による支出	△12,253	△85,141
投資有価証券の売却による収入	59,078	79,094
貸付金の回収による収入	2,000	2,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,307	△68,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,700,000	900,000
短期借入金の返済による支出	△1,700,000	△900,000
長期借入れによる収入	80,000	-
長期借入金の返済による支出	△20,672	△16,008
自己株式の取得による支出	△37,872	△1,288
配当金の支払額	△39,558	△56,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,103	△73,621
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	279,061	116,268
現金及び現金同等物の期首残高	1,311,695	1,404,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,590,757	1,521,081

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上 額(注)3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,926,758	1,139,278	3,066,037	150,414	3,216,451	—	3,216,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,926,758	1,139,278	3,066,037	150,414	3,216,451	—	3,216,451
セグメント利益	324,926	164,352	489,279	9,856	499,135	△130,623	368,512

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額△130,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上 額(注)3
	エネルギー 関連事業	産業システ ム関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,343,580	931,011	2,274,591	122,598	2,397,189	—	2,397,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,343,580	931,011	2,274,591	122,598	2,397,189	—	2,397,189
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	279,102	152,027	431,129	△8,907	422,222	△150,810	271,411

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店の経営等を含んでおります。
 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△150,810千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

6. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,464,452	76.3
産業システム関連	1,004,158	89.9
その他	3,081	81.6
合計	2,471,693	81.3

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	976,558	65.7	1,077,790	94.3
産業システム関連	1,081,577	122.4	551,577	104.8
その他	3,081	81.6	—	—
合計	2,061,217	86.8	1,629,367	97.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エネルギー関連	1,343,580	69.7
産業システム関連	931,011	81.7
その他	122,598	81.5
合計	2,397,189	74.5

- (注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計		当第2四半期累計	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	501,558	15.6	475,773	19.8

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。